

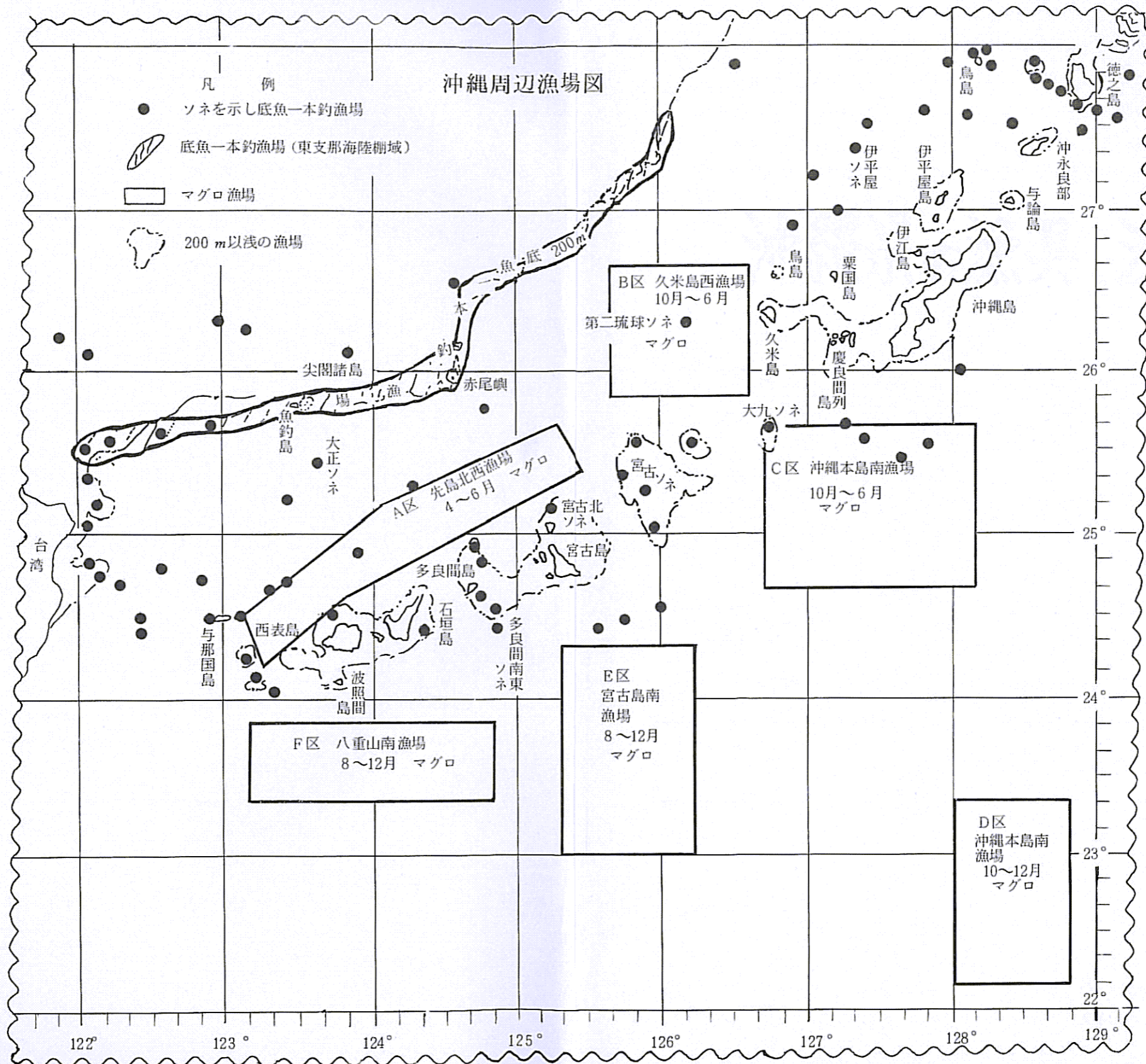
沖縄県の漁具、漁法



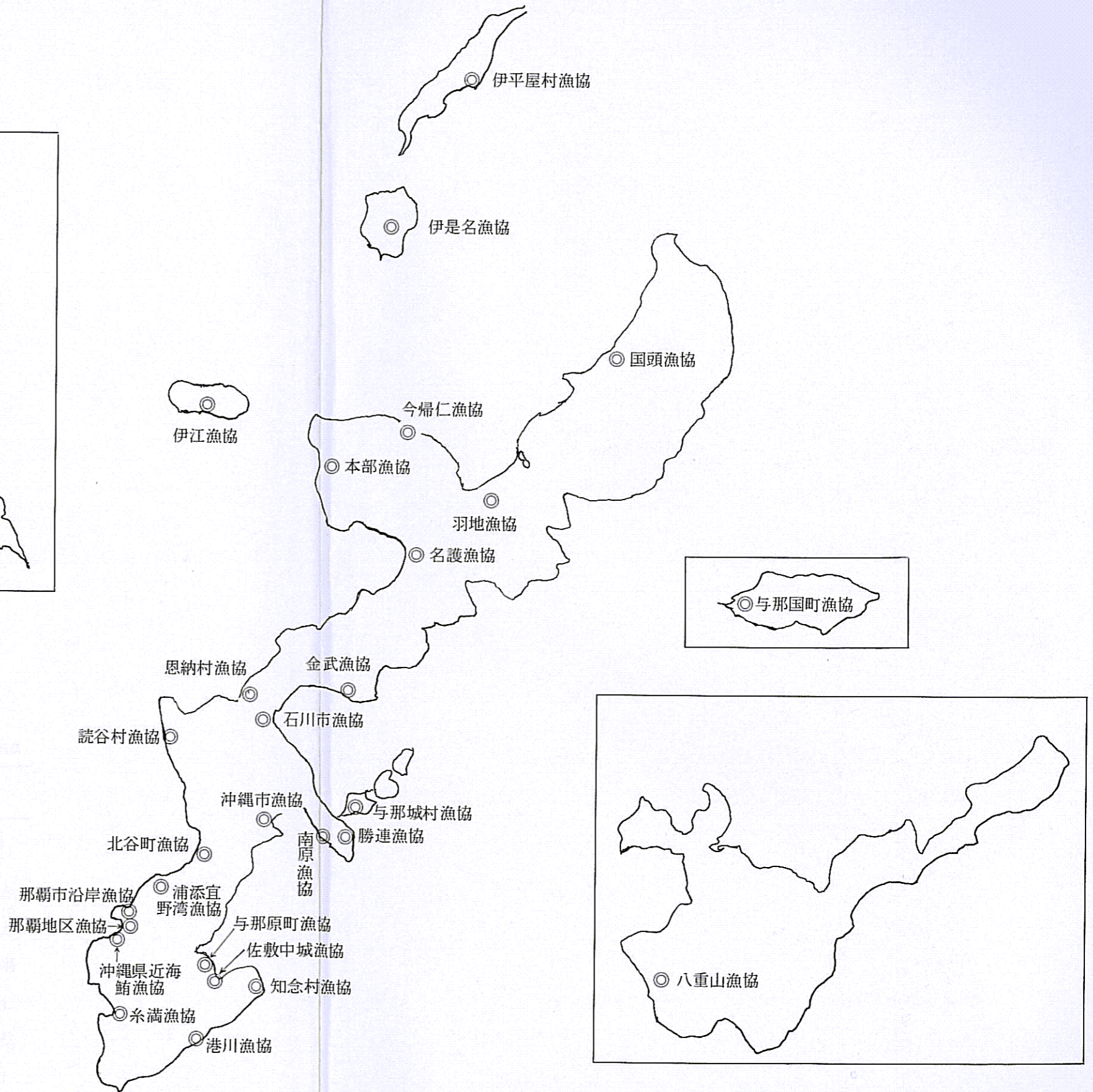
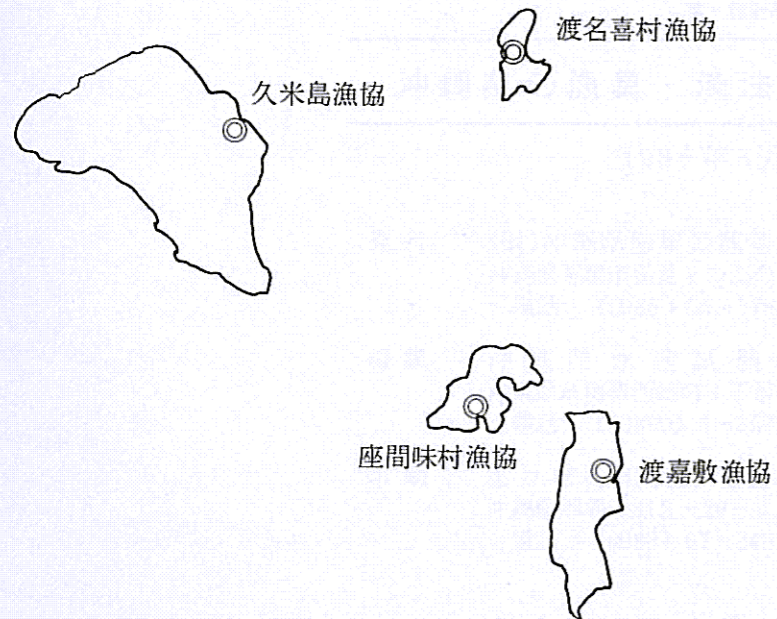
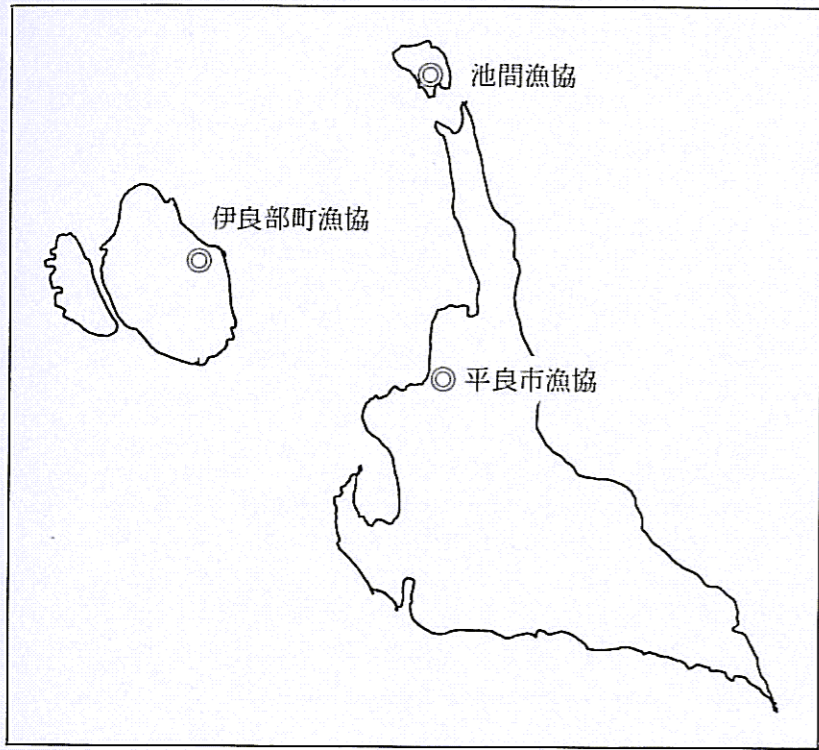
(財) 沖縄県漁業振興基金
沖縄県水産試験場

凡 例

- ① 漁業者は一般にヒロ、間、尺、匁、斥等いわゆる尺間法を使って漁具製作している。しかしそれは市販、常用されるもの以外は個人差が大きいので出来るだけメートル法を使用した。(例えば1 K間= 1.5 mとした)
- ② 釣漁具の中でナイロンとかテグスと称しているものについては、ナイロンテグスに統一した。
- ③ ナイロンテグスは沖縄で販売されているのは日本製とドイツ製があり、日本製は号数で表示されているがドイツ製はパーロンと称しポンドで表示され、混同するのが多い。パーロン(パルロン)使用の場合はポンドで表示し、備考にパーロンと記した。なお抗張力からみて材質にもよるがポンドと号数は90ポンド以下は $\frac{1}{2}$ 号相当(例えば90ポンドは40号~50号の力)とし、大体1ポンド0.4~0.8号の割合と考えて使用した方が無難である。
- ④ 曳縄釣りは通常一本釣りに含まれるが便宜上独立記述した。
- ⑤ 刺網は本来漁具構成から1枚か3枚かに分け、操業上から浮刺網、流刺網、底刺網、巻刺網等に分けるがここでは特に分けず、一般に呼称されているまま採用した。
- ⑥ 地域によって特別な呼称法があるものについてはそのまま採用記載した。例えばアカジン曳縄、シジャー曳縄等。
- ⑦ 魚介類は種がわかっているものについては方言名をカタカナで()して和名をひらがな書きで示した。
- ⑧ 月は特に旧暦記述が必要以外太陽暦月とした。



県下漁協位置図



目 次

発刊あいさつ	(財)沖縄県漁業振興基金 理事長	古 謝 得 善
発刊にあたって	沖縄県水産試験場 場 長	崎 山 憲 一
発刊に寄せて	沖縄県漁業協同組合連合会 会長理事	糸 満 三 郎
はしがき	沖縄県水産試験場 漁業室	久 貝 一 成
凡 例		

I	釣 漁 業	1
	1 一本釣漁業	1
	(1) 深海一本釣 (マチ類)	(那覇地区漁協) 1
	(2) 深海一本釣 (マチ類)	(渡嘉敷漁協) 3
	(3) 深海一本釣 (マチ類)	(与那国町漁協) 4
	(4) 深海一本釣 (マチ類)	(八重山漁協) 6
	(5) 深海一本釣 (マチ類)	(平良市漁協) 7
	(6) 深海一本釣 (マチ類)	(与那城村漁協) 9
	(7) タル流し (クロマチ)	(名護漁協) 11
	(8) 石巻き落し (マーマチ・ミーバイ類)	(本部漁協) 13
	(9) 石巻き落し (グルクンマチ他)	(池間漁協) 15
	(10) 瀬魚一本釣 (USSユー他)	(多良間村) 16
	(11) 瀬魚一本釣 (ミミジャー、ニバラ他)	(伊良部町漁協) 17
	(12) 瀬魚一本釣 (ムルー、シルイユ他)	(伊是名漁協) 19
	(13) 瀬魚一本釣 (ムルー、シルイユ他)	(伊平屋村漁協) 20
	(14) トビイカ釣	(久米島漁協) 21
	(15) トビイカ釣	(国頭漁協) 26
	(16) 流し釣り (マグロ類)	(伊良部町漁協) 29
	(17) カツオー一本釣	(本部漁協) 31
	2 延縄漁業	34
	(1) 底延縄 (タマン他)	(糸満漁協) 34
	(2) 底延縄 (タマン他)	(伊江漁協) 36
	(3) 底延縄 (タマン他)	(勝連漁協) 38
	(4) 底延縄 (タマン他)	(今帰仁漁協) 40

(5)	底延縄 (タマン他)	(栗国村)	42
(6)	底延縄 (タマン他)	(伊是名漁協)	43
(7)	底延縄 (タマン他)	(伊平屋村漁協)	45
(8)	底立延縄 (通称タマン延縄)	(糸満漁協)	48
(9)	底立延縄 (通称タマン延縄)	(勝連漁協)	50
(10)	底延縄 (クロダイ類)	(与那原町漁協)	52
(11)	底延縄 (イトヨリ)	(勝連漁協)	54
(12)	底延縄 (アーラ)	(伊江漁協)	55
(13)	底延縄 (アーラ)	(勝連漁協)	57
(14)	タイ流し釣 (レンコダイ)	(本部漁協)	59
(15)	底延縄 (サメ類)	(糸満漁協)	60
(16)	底延縄 (アイザメ類)	(沖縄市漁協)	63
(17)	底延縄 (アイザメ類)	(勝連漁協)	67
(18)	底立延縄 (マチ類)	(糸満漁協)	69
(19)	底立延縄 (マチ類)	(勝連漁協)	73
(20)	浮延縄 (マンビキ)	(恩納村漁協)	75
(21)	浮延縄 (マグロ)	(那覇地区漁協)	77
(22)	浮延縄 (マグロ)	(伊良部町漁協)	81
3 曳縄漁業			85
(1)	カジキ曳縄	(与那国町漁協)	85
(2)	カジキ曳縄	(八重山漁協)	87
(3)	カツオ・スマ曳縄	(伊良部町漁協)	89
(4)	カツオ・ソーダカツオ曳縄	(栗国村)	91
(5)	カツオ・スマ曳縄	(渡嘉敷漁協)	93
(6)	スマ曳縄	(那覇市沿岸漁協)	95
(7)	サワラ曳縄	(池間漁協)	97
(8)	サワラ曳縄	(八重山漁協)	99
(9)	サワラ曳縄	(伊平屋村漁協)	101
(10)	ジャンボ曳縄 (マグロ類)	(伊良部町漁協)	102
(11)	ジャンボ曳縄 (マグロ類)	(糸満漁協)	104
(12)	シルイカ (あおりいか) 曳縄	(伊江漁協)	109
(13)	赤イカ (あおりいか) 曳縄	(那覇市沿岸漁協)	112

(14) イカ (あおりいか) 曳縄	(多良間村)	112
(15) イカ (あおりいか) 曳縄	(伊是名漁協)	113
(16) アカジン (すじあら) 曳縄	(糸満漁協)	115
(17) アカジン (すじあら) 曳縄	(八重山漁協)	116
付図1 テグスの結び方		119
付表1 ナイロンテグス・ワイヤーの標準規格		122

II 網漁業 123

1 定置網漁業		123
(1) 建干網 (通称あんぶし)	(南原漁協)	124
(2) ます網	(羽地漁協)	129
(3) 改良ます網	(具志川市漁組)	135
(4) ます網型落し網	(宜野座漁組)	140
(5) 落し網	(与那原町漁協)	141
(6) 落し網	(知念村漁協)	144
2 敷網漁業		145
(1) 追込網 [ゲルクン (たかさご類)]	(伊良部町漁協)	147
(2) 追込網 [ゲルクン (たかさご類)]	(八重山漁協)	151
(3) 追込網 [ムギヤ (てんじくだい) 等]	(伊良部町漁協)	155
(4) 敷網 [ウフミー (てんじくだい)]	(八重山漁協)	157
(5) ムロアジ網	(平良市漁協)	161
(6) トビウオ浮敷網 (2 そうトゥブウ網)	(糸満漁協)	166
(7) トビウオ浮敷網 (1 そうトゥブウ網)	(伊江漁協)	171
(8) 四そう張網	(本部漁協)	175
(9) 浮敷網 (ヤマトミズン、ムロ他)	(伊良部町漁協)	177
3 旋網漁業		181
(1) 小型旋網	(八重山漁協)	181
4 刺網漁業		186
(1) 固定式底刺網	(知念村漁協)	186

(2) 固底式底刺網	(八重山漁協)	190
(3) 固定式底刺網 (タイワンガザミ)	(石川市漁協)	193
(4) 固定式底刺網 (タイワンガザミ)	(羽地漁協)	195
(5) トビウオ流し刺網	(港川漁協)	197

Ⅲ その他漁業 200

1 籠漁業 200

(1) カニ籠 (タイワンガサミ)	(佐敷中城漁協)	201
(2) カニ籠 (タイワンガラミ)	(石川市漁協)	203
(3) 魚籠 (タマン)	(国頭漁協)	204
(4) 魚籠	(宜野座村漁組)	207
(5) バイ籠	(与那原町漁協)	208
(6) アサヒガニ籠	(糸満漁協)	210

2 その他の漁業 214

(1) サワラ突棒 (俗称サワラワイヤー)	(今帰仁漁協)	214
(2) イルカ突棒	(名護漁協)	216
(3) 亀カキ	(平良市漁協)	219
(4) いせえびカキ	(平良市漁協)	220
(5) シジャー (だつ) 曳縄	(八重山漁協)	221
(6) コブシメー本釣	(今帰仁漁協)	222
(7) コブシメー本釣	(渡名喜村漁協)	224

資 料

1 漁協別漁業形態一覧表	225
2 沖縄で漁獲される主要魚の名称一覧表 (和名 - 方言)	228
3 漁業種別漁獲量 (年度別)	240
4 沖縄周辺漁場図	
5 県下漁協位置図	

正 誤 表

頁	行	誤	正	頁	行	誤	正
目次	2	延縄漁業 (1)	イトヨリ	33	図 1-3 人員配置等	(イ) 操蛇室	(イ) 操 <u>舵</u> 室
〃	2	敷網漁業 (3)	てんじくだい	34	5	キダイ (れんこ)	レンコダイ (きだい)
〃	1	籠漁業 (1)	タイワングサミ	34	6	伊江外敷地区	伊江他敷地区
〃	1	籠漁業 (2)	タイワングラミ	34	9	(いとより)	(いとより <u>だい</u> 類)
〃	2	その他の漁業(1)	サワラワイヤー	36	17	底延縄 (タマン類)	底延縄 (タマン <u>他</u>)
1	5	立縄釣、通称	立縄釣で、通称	38	表下 1	6 <u>m</u>	6 <u>cm</u>
3	8	ならない <u>ため</u>	ならない <u>ように</u>	45	表のトの行	2 箱	1 箱
7	3	の仕様	の仕様 (表 1-1)	48	5	漁場は <u>昼間</u>	漁場は、 <u>昼間</u>
7	10	イカを使う <u>漁獲</u>	イカを使う <u>漁獲</u>	48	6	(……含む) <u>に夜</u>	(……含む) <u>に、夜</u>
7	11	入れるが直接	入れるか直接	50	16	この漁法は <u>春</u>	この漁法は、 <u>春</u>
7	12	適切 <u>な</u> 処理する。	適切 <u>に</u> 処理する。	50	17	集まるので <u>これ</u> を	集まるので、 <u>これ</u>
8	17	船尾から投縄する	船首尾から投縄する	52	3	イトヨリ漁	イトヨリ <u>ダイ</u> 漁
8	表	表-1	表 1-1	52	5	なったこと。 <u>パヤ</u>	なったこと <u>や</u> パヤ
8	表	表具の仕様	漁具の仕様	53	下から 2	イトヨリ漁	イトヨリ <u>ダイ</u> 漁
13	下から 6	(幹式 1 W……)	(<u>乾</u> 式 1 W……)	53	下から 2	イトヨリはキビナゴ	イトヨリ <u>ダイ</u> はキビナゴ
23	操業見取り図	(ト)	削除	54	1~3	(イトヨリ)	(イトヨリ <u>ダイ</u>)
29	3	本格的とな <u>った</u> 。	本格的とな <u>った</u> <u> </u>	54	表	ハ 標識竿	削除
29	5	いたが冷凍	いたが <u>その</u> 後冷凍	55	9	(イトヨリ類)	(イトヨリ <u>ダイ</u> 類)
30	漁具の一般構成図	ビヤーリングサルカン	ベヤーリングサルカン	60	表下 5	サンマの <u>肉切り</u> 。	サンマの <u>切り身</u> 。
31	表下 1	除却して	除去して	60	表下 6~7	キダイ (レンコダイ)	レンコダイ (きだい)
32	下から 11	曽根域の <u>魚群</u> で	曽根域、 <u>魚群</u> は	63	4	(喰いが悪い)、	(喰いが悪い) <u>。</u>
32	下から 10	カツオ島、ミズナギ鳥	カツオ <u>ドリ</u> 、ミズナギ <u>ドリ</u>	63	下から 8	延える、	投縄し、

頁	行	誤	正	頁	行	誤	正
63	下から 7	投入して終了し	投入して帰港する。	135	5	ヒラアジ類	ガーラ類
63	下から 1	(……じりざめ)	(……じりざめ)、	138	図 3-4	④…つり網が	④…つり網を
71	下から 6	(……と着脱)	(……と着脱)。	139	図 5-1	ハ緑網……半目	ハ荒目……半目
71	下から 2	幹系ナイロンテグス	幹系(ナイロンテグス)	139	図 5-1	ニ荒目……5目	ニ緑網……5目
75	6	ところで浮力の	ところで行われる浮力の	139	図 5-1	ホ荒目……5目	ホ緑網……5目
75	7	おって見まわり	おいて見まわり	139	図 5-1	ヘ緑網……半目	ヘ荒目……半目
77	3~4	て設置してある	る	140	14	甲いか	甲イカ
77	下から 7	反面小型	反面小型船	142	11	計6人	計5~6人
79	表 イ ラジオバイ	60~90鉢(浮標)	60~90鉢	145	下から 1	数個配す。	数個配す。)
81	図下から 1	腹は両側の	腹は切り裂かず両側の	146	3	行いa 集魚	行い集魚
81	下から 2	自動操舵装置	自動操舵装置	146	4	手順は、集魚	手順は、a 集魚
86	表 1-1	魚具の仕様	漁具の仕様	148	図下右の下方		図 1-4
87	5	脱離	離脱	155	1~2	(てんじくだい)	(きんめもどき)
103	図 1-1	(ニ) サルカン	(ニ) 切らせ(俗称とばせ)	157	下から 1	全体をおうよう	全体をおおうよう
104	下から 1	が減少傾向に	に減少傾向が	159	1	この時日出後	この時出巢している
106	表 ハの行	とばせ	切らせ(俗称とばせ)	173	表 ヌの行	環は……する	削除
107	18	白イカ	シルイカ	181	2	平良市1統計2	平良市1統、計2
107	18	(この地域で白イカと称す)	(あおりいか)	186	下から 6	を漁場として	漁場を利用して
109	下から 8	白イカ(あおりいか)	シルイカ(あおりいか)	207	3	(…移動させる。…)	(…移動させる、…)
115	図	(ニ) 枝条	(ニ) 釣元	207	13	(ヒメフエダイ)	(ひめふえだい)
125	図	$\frac{1}{940}$	削除	218	下から 3	港が数時間	港まで数時間
125	図	(イ) 浮子方	(イ) 浮子綱	236	下から 8	シルイチャー	シルイチャー、アカイチャー

※ 文中、チン(みなみくろだい)、エーグァー(あいご類)、キス(ほしぎす)、イトヨリはイトヨリダイ類、アイゴはアイゴ類、あいごはあいご類に訂正。

頁	行	誤	正	頁	行	誤	正
63	下から 7	投入して終了し	投入して帰港する。	135	5	ヒラアジ類	ガーラ類
63	下から 1	(……じりざめ)	(……じりざめ)、	138	図 3-4	④…つり網が	④……つり網を
71	下から 6	(……と着脱)	(……と着脱)。	139	図 5-1	ハ緑網……半目	ハ荒目……半目
71	下から 2	幹系ナイロンテグス	幹系(ナイロンテグス)	139	図 5-1	ニ荒目……5目	ニ緑網……5目
75	6	ところで浮力の	ところで行われる浮力の	139	図 5-1	ホ荒目……5目	ホ緑網……5目
75	7	おって見まわり	おいて見まわり	139	図 5-1	ヘ緑網……半目	ヘ荒目……半目
77	3~4	て設置してある	る	140	14	甲いか	甲イカ
77	下から 7	反面小型	反面小型船	142	11	計6人	計5~6人
79	表 イ ラジオバイ	60~90鉢(浮標)	60~90鉢	145	下から 1	数個配す。	数個配す。)
81	図下から 1	腹は両側の	腹は切り裂かず両側の	146	3	行いa 集魚	行い集魚
81	下から 2	自動操舵装置	自動操舵装置	146	4	手順は、集魚	手順は、a 集魚
86	表 1-1	魚具の仕様	漁具の仕様	148	図下右の下方		図 1-4
87	5	脱離	離脱	155	1~2	(てんじくだい)	(きんめもどき)
103	図 1-1	(ニ) サルカン	(ニ) 切らせ(俗称とばせ)	157	下から 1	全体をおうよう	全体をおおうよう
104	下から 1	が減少傾向に	に減少傾向が	159	1	この時日出後	この時出巢している
106	表 ハの行	とばせ	切らせ(俗称とばせ)	173	表 ヌの行	環は……する	削除
107	18	白イカ	シルイカ	181	2	平良市1統計2	平良市1統、計2
107	18	(この地域で白イカと称す)	(あおりいか)	186	下から 6	を漁場として	漁場を利用して
109	下から 8	白イカ(あおりいか)	シルイカ(あおりいか)	207	3	(…移動させる。…)	(…移動させる、…)
115	図	(ニ) 枝条	(ニ) 釣元	207	13	(ヒメフエダイ)	(ひめふえだい)
125	図	$\frac{1}{940}$	削除	218	下から 3	港が数時間	港まで数時間
125	図	(イ) 浮子方	(イ) 浮子綱	236	下から 8	シルイチャー	シルイチャー、アカイチャー

※ 文中、チン(みなみくろだい)、エーグァー(あいご類)、キス(ほしぎす)、イトヨリはイトヨリダイ類、アイゴはアイゴ類、あいごはあいご類に訂正。

禁・無断転載

沖縄県の漁具・漁法

1986年3月

- 発行 (財)沖縄県漁業振興基金
沖縄県那覇市前島3の25の19
電話 (0988) 66-3766
- 編集 沖縄県水産試験場
沖縄県糸満市西崎町1丁目
電話 (09899) 4-3593
- 印刷 あげぼの印刷株式会社
沖縄県那覇市泊2-29-4
電話 (0988) 67-3451